

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	「共通実践の継続」と「自己有用感の高揚」
-------	-----------------------------

田村市立船引小学校

【取組の概要】

家庭学習について教職員が共通理解を図り、共通実践を継続して行っている。また、保護者と連携を図り、子どもたちの自己有用感を高める手立てを講じることで、意欲的な自主学習への取組が生まれている。

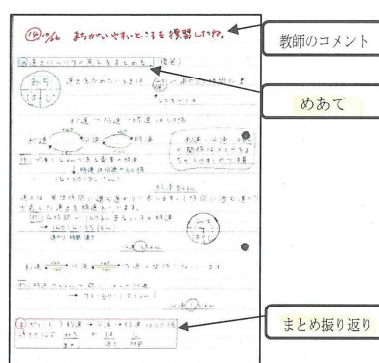
1 取組① 内容・方法を指導します

(1) 「手引き」に基づく、共通実践の徹底

「船引小学校学習のきまり」「家庭学習の進め方」について、年度初めに教職員で共通理解の場をもち、共通実践を図っている。

自主学習の取組では、児童自身で設定した「めあて」、取り組んだ内容についての「振り返り」を記入させている。教師は、改善へのアドバイスや取組への称賛のコメントを記入し、自主学習への意欲付けを図っている。

また、「現職だより」や「職員会議」で家庭学習への取組について、各学年間の取組に差が出ないように確認する機会を設けている。



<自主学習ノート>

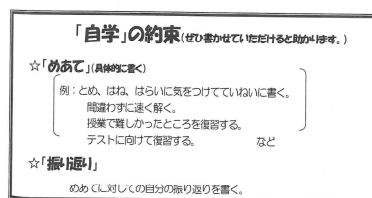


家庭学習の充実に向けて

運動会が終わり、頑張る姿をたくさん見せてくれた子ども達。これからますます授業に真剣に取り組んでいく姿を見せてくれることでしょう。「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、「授業スタンダード」を活用しながら授業を進めています。さらに子どもたちが自分で学習や生活を改善し、「自己マネジメント力」をつけていくことが、学力の向上につながっていきます。「家庭学習スタンダード」を仲立ちにして、学校・家庭・地域が役割を果たし、子どもたちの家庭学習を充実させていく必要があります。

学習習慣の確立のために、各学年において毎週に加え自主学習にも取り組ませていることとします。職員会議の中で、学年ごとの「家庭学習の進め方・自主学習メニュー」を学力向上担当より話があり、家庭にも配布してもらいました。ただ子どもたちの中には、どのように進めているかわからない児童が多いのではないかと感じました。そこで改めて「自学」について確認したいと思います。

「自学」とは、自分で取り組む内容を決め、学習することです。学校で学んでいることの復習や高手だったところ、漢字や計算などしっかり覚えたり、できるようにするための必要のある内容を自分で取り組むことが大切です。



(2) ノートの展示

素晴らしい取組をしている自主学習ノートを廊下に展示するだけでなく、1冊目、2冊目と過去のノートも並べている。同クラス、同学年だけでなく、異学年のノートもいつでも見に行ける環境が整っている。

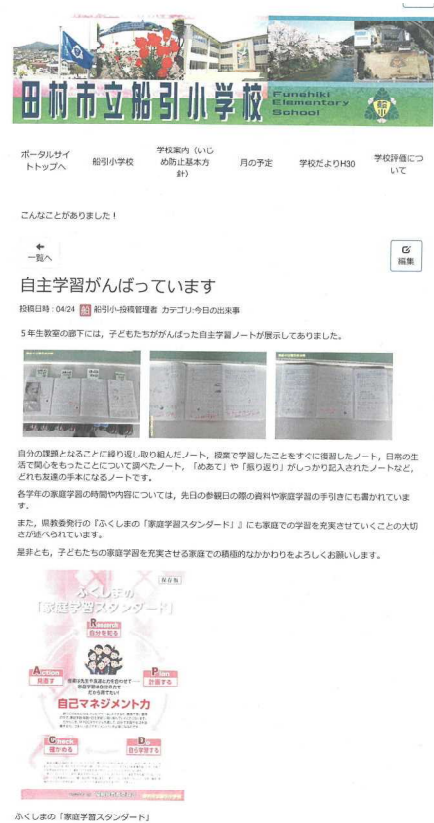
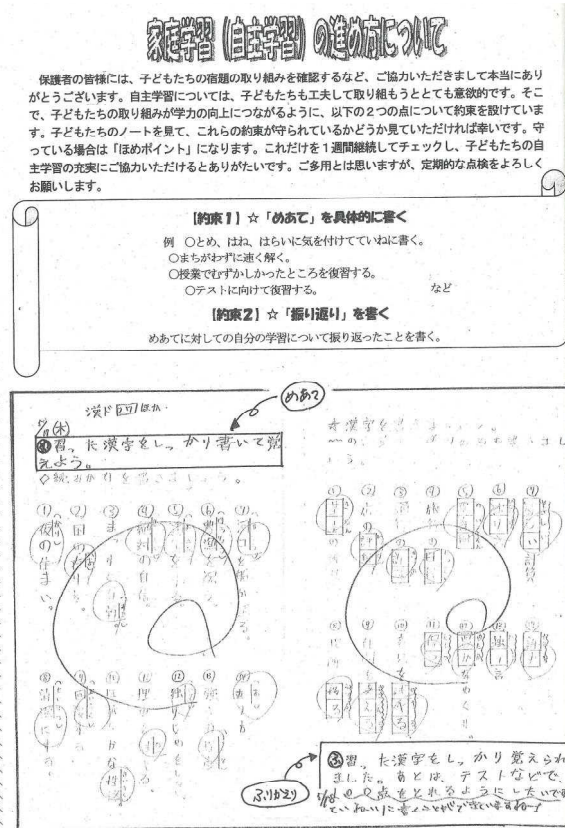


<お互いのノートを見合う1年生>
取り組んだ内容について説明し合っています。
「〇〇ちゃん、きれいな字だね。」
「わたしは、たし算をやってきたんだ。」
「いっぱいやっていて、すごいね。」

2 取組② 協力・連携体制を築きます

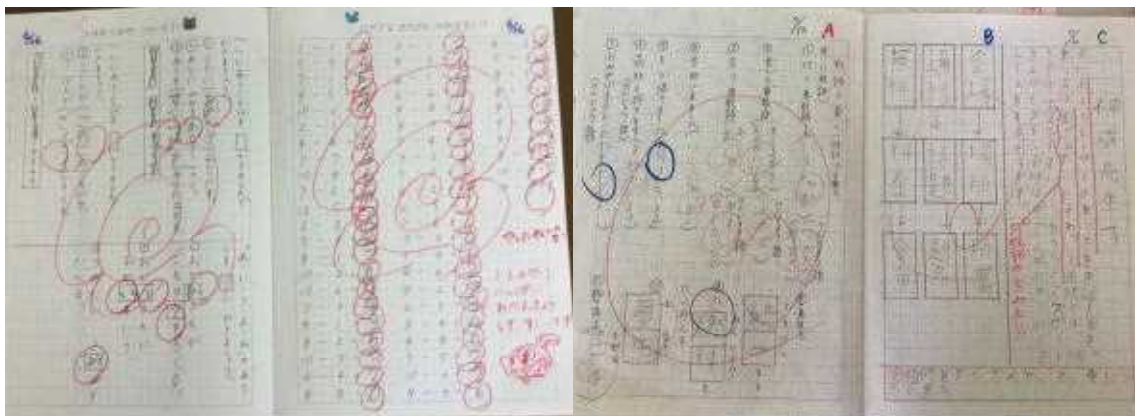
(1) お便り・ホームページをととした学校の取組の発信

授業参観や学級懇談で家庭学習の現状や成果・課題を保護者と共有している。また、実例を挙げて家庭学習の進め方を紹介している。さらに、学校のホームページに各学年での取組を紹介することで、取組の経過を保護者に知らせるとともに、家庭学習への関心を高めるようにしている。



(2) 保護者の手が加わった自主学習ノート

学校から配付された「学習のきまり」と「家庭学習の約束」により我が子の家庭学習に対する、保護者の意識が高まり、子どもの自主学習と一緒に取り組む事例が増えてきた。下の例では、1年生の保護者が、一緒にめあてをつくり、問題を作成して丸付けを行っている。また、5年生の保護者は、子どものめあてに沿った問題を作り、答え合わせをしている。



家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	「学校目標達成ビジョン〈家庭版〉の作成」と「家庭との目標の共有」
-------	----------------------------------

浅川町立里白石小学校

【取組の概要】

子どもたちに「自己マネジメント能力」を育成すべく、家庭学習の取組はもちろん、学校の教育活動全般において、「目標設定」と「振り返り」を大切にした教育活動を展開している。

1 取組① 協力・連携体制を築いています 保護者への啓発

- ・授業参観全体会で「家庭学習スタンダード」を周知（校長、学年担当）
- ・「学校目標達成ビジョン〈家庭版〉の作成」と「家庭との目標の共有」

平成30年度 里白石小学校 学校目標達成ビジョン

【目的】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。【目的】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【基本方針】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【目的・目標を共有し、達成のための取組を推進・徹底し、実践する。（一学級一）】

【取組】 ① 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

平成30年度 里白石小学校 学校目標達成ビジョン〈家庭版〉

【目的】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【目的】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【基本方針】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【目的・目標を共有し、達成のための取組を推進・徹底し、実践する。（一学級一）】

【取組】 ① 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

今年度のめざす児童目標

【目的】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【基本方針】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【目的・目標を共有し、達成のための取組を推進・徹底し、実践する。（一学級一）】

【取組】 ① 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

今年度のめざす児童目標

【目的】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【基本方針】 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

【目的・目標を共有し、達成のための取組を推進・徹底し、実践する。（一学級一）】

【取組】 ① 心身ともに健康で人間性豊かな子どもを育て、自ら学び自ら育ち、社会に貢献する力を身に付け、地域社会に貢献する。

2 取組② 内容・方法を指導しています

(1) 「目標設定」と「振り返り」

① 「家庭学習の記録カード」の活用

- ・昨年度から、全学年で、家庭での学習の様子（学習、読書、お手伝い、テレビやゲームの時間）とともに、週のはじめに「家庭学習のめあて」、週の終わりに、その「振り返り」を記入させることで、自己マネジメント力の育成につなげている。（自己のよさの自覚と発揮・改善）

こつこつがんばり、何事にもチャレンジするぞっ子!

5・6年時の家庭学習の記録カード（6・70分単位）

月日	曜日	漢字・算数	ドリル	読書	学習・読書の時間	学習・読書の時間	学習・読書の時間	学習・読書の時間	学習・読書の時間	学習・読書の時間	学習・読書の時間	学習・読書の時間	学習・読書の時間
5/1	月	漢字ドリル	算数ドリル	読書	85分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分
5/2	火	漢字ドリル	算数ドリル	読書	80分	45分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分
5/3	水	漢字ドリル	算数ドリル	読書	80分	50分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分
5/4	木	漢字ドリル	算数ドリル	読書	85分	45分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分
5/5	金	漢字ドリル	算数ドリル	読書	80分	45分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分
5/6	土	漢字ドリル	算数ドリル	読書	80分	50分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分
5/7	日	漢字ドリル	算数ドリル	読書	85分	60分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分
5/8	月	漢字ドリル	算数ドリル	読書	85分	60分	80分	80分	80分	80分	80分	80分	80分

＜一週間を振り返って、めあてに達した点だけでなく、読書を15分以上読めた点も記入してください。＞

読書の時間 530分

教科書に出てくる本を読もう！（4年国語上）

ページ	本の題名	著者名	出版社	読み終わった日
2	25 白いぼうし	あまんきみこ	ポプラ社	5/21
3	25 春のお客さん	あまんきみこ	ポプラ社	5/21
3	25 星のタクシー	あまんきみこ	ポプラ社	5/21
5	50 あきらめないこと、それが冒険だ	野口 健	学研教育出版	5/17
6	50 ぼくは貝の夢をみる	盛口 満	アリス館	5/17
7	50 木の音が聞こえますか	池田まき子	岩崎書店	5/17
8	50 しっぽをなくしたイルカ	岩倉るみ子	講談社	5/17
8	81 おかあさんの紙びな	長崎源之助	岩崎書店	5/17
9	81 地雷のない世界へ	大塚 教子	講談社	5/17
10	81 せかいのひとびと	ピーター＝ヌビア一作	評論社	5/17
11	81 おきなわ 島のこえ	松川真弓訳	評論社	5/17
12	81 チロスップの きつね	丸木 俊	小峰書店	5/17
13	81 すみれ島	丸木位里	小峰書店	5/17
14	81 山の学校の子どもたち	たかはしひろゆき	金の星社	5/17
15	81 オットー	今西 祐行	備成社	5/17
16	81 ひろしまのピカ	長倉 洋海	備成社	5/17
		トミー＝ウングラー一作	評論社	5/17
		鏡 哲生訳	評論社	5/17

②「読書カード」の活用

- 学校で毎朝10分間の読書活動を実施。家庭においても10分以上の読書活動を行っている。
- 家庭学習同様、「目標」と「振り返り」を大切にしている。
（一月の目標冊数：低学年15冊、中学年10冊、高学年8冊）
- ※ 教科書教材に関連する図書リストの準備。（保護者からは、「何を読ませればよいか分かりやすい」とたいへん好評）

(2)「家庭学習の手引き」の活用

- 「家庭学習の手引き」には、家庭での学習の仕方や学習内容の例（パワーアップ自主学習ガイド）を掲載。
- ラミネート加工してノートに挟ませ、勉強する際に常に意識できるように配慮している。

家庭学習の手引き
～3・4年生～

3年生は40分以上・4年生は50分以上
浅川町立白石小学校

家庭学習を「必ずやる」「集中してやる」「ていねいにやる」

家庭学習のめあて
◎ 宿題が終わったら、自主学習にチャレンジしよう。

家庭学習のすすめかた
テレビを消す
宿題をする
自主学習をする
明日のじゅんぴをする

家庭学習をがんばろう

今までの学習をふりかえろう

- 時刻を決めて、早めに、学習を始めた。
- テレビを消して、学習した。
- つくえの上をきれいに片づけてから始めた。
- よい姿勢をとり、正しいえんぴつのもちかたができた。
- 字をきれいにかいた。
- 家庭学習が終わってから、明日のじゅんぴをした。

パワーアップ自主学習ガイド

◎ 自主学習は何をしようかな?となやんだときには、自主学習パワーアップガイドを見よう。やりたいことが見つかるかもしれない!それと、毎日同じ学習ではなく、4つの教科の学習、いろいろな学習内容にもちようせんしてみよう。終わったら、お家の人にも見せよう!!

めあてをもって学習に取り組もう!

【計画例】

国語	<input type="checkbox"/> 読んだ本の内容や感想を書く。 <input type="checkbox"/> 新聞を読んで、興味をもった記事の感想や意見を書く。 <input type="checkbox"/> 漢字の練習をして、書き順を正しく覚える。 <input type="checkbox"/> 国語辞典や漢字辞典を使って、言葉の意味調べをしたり、例文を調べて書いたりする。 <input type="checkbox"/> 漢字の部首（へんやつくり・かんわりなど）や面歌を調べて書く。 <input type="checkbox"/> テレビのニュースを聞いたり、新聞を読んだりして、内容や意見、感想を書く。 <input type="checkbox"/> 習った漢字や言葉を使って、作文や物語、詩などを書く。 <input type="checkbox"/> 俳句や短歌をつくってかく。 <input type="checkbox"/> ローマ字を使って、言葉や文を書く。
社会	<input type="checkbox"/> 学習した内容を分かりやすくまとめ、復習する。 <input type="checkbox"/> テレビのニュースや新聞記事の紹介（内容・選んだ理由・感想など）を書く。 <input type="checkbox"/> 日本地図や都道府県名をかく。 <input type="checkbox"/> 教科書や地図帳を使って、県の特色を調べて書く。
音楽	<input type="checkbox"/> 新編集の練習に力を入れる。

3 取組③ 共通理解を図り指導しています

(1) 家庭学習オリエンテーション、読書オリエンテーションの実施

- 全校朝の会で「家庭学習」「読書」について担当がガイダンスを実施。
- 全校生に目的を伝え、一人一人に目標をもたせた上で、主体的に取り組むことができるようにしている。
- 全校生を対象にオリエンテーションを実施することで、学校全体（全児童、全職員）で共通理解が図られ、ぶれない指導が可能になる。
- 朝の全校集会時等に繰り返しオリエンテーションを行うことで定着を図る。

(2)「家庭学習の手引き」の作成・配付

学年に応じた「家庭学習の手引き」（低学年・中学年・高学年）の作成・配付。

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	「3点固定」と「メディアコントロール」
-------	---------------------

須賀川市立仁井田中学校

【取組の概要】

自主的に家庭学習に取り組む生徒は多いが、家庭学習の質を高めたい。そのためにも、小・中学校の連携とともに、家庭・地域も巻き込んで、生徒の自己マネジメント力の向上を目指して取り組んでいる。

1 取組① 共通理解を図り指導しています

(1) 中学校区での共通の取組

中学校区において以下の2点について連携を図った実践を行っている。

- ① 「3点固定」：起床・就寝・学習開始時刻の固定
- ② 「メディアコントロール」：スマートフォンやゲーム機等の望ましい使い方ができるよう家庭内での約束を定める。

(2) 意識調査の実施

年度当初に、以下の目的で意識調査を実施した。

- ① 各家庭における「家庭学習スタンダード」
「3点固定」「メディアコントロール」の
認知度把握
- ② 生徒の家庭学習状況の振り返り（「家庭学習スタンダード」中面9つのチェック項目「お子さんと一緒に家庭学習を振り返ってみませんか？」を活用）

意識調査の結果、「家庭学習スタンダード」等の認知度は決して高いとはいえない現状であった。

また、一方で、9つの項目中6項目で肯定的な回答が上回るなど、家庭学習に対する意識の高さが伺えた。今後は、県教育委員会作成の「家庭での学習・生活チェックシート」の活用を検討している。生徒自身が学期ごとに振り返るとともに、一人一人の変容を見取り、様々な取組について家庭や地域に発信していく予定である。

家庭学習に関するアンケート
薫風の候、保護者の皆さまには、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、本校では今年度「家庭学習の充実」を重点事項として取り上げ、御家庭や地域の御協力をいただきながら「3点固定」や「メディアコントロール」などの具体策を進めて参ります。

つきましては、保護者の皆様のお考え等を把握したいと存じますので、以下のアンケートに御協力をお願いします。回答までの期限が短く恐縮ですが、5月7日（月）までに提出くださいますよう、お願い申し上げます。

参 考
【3点固定】
起床、就寝、学習開始時刻を固定し、規則正しい生活を旨とする。
【メディアコントロール】
パソコン、携帯電話、スマホ、ゲーム機等について、望ましい使い方ができるよう家庭内での約束を定めること。

切り取り線

家庭学習に関するアンケート

1年 組 お子様は（ 男子 ・ 女子 ）

- Q1 ぶくし様の「家庭学習スタンダード」（別紙）を見たことがある。 【 はい・いいえ 】
- Q2 本校で取り組んでいる「3点固定」について知っていた。 【 はい・いいえ 】
- Q3 本校で取り組んでいる「メディアコントロール」について知っていた。 【 はい・いいえ 】
- Q4 以下は、お子さんの家庭学習について、あてはまる部分の□にレのマークをお願いします。
- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 学習する場所を整理している。 | <input type="checkbox"/> 正しい姿勢で学習している。 |
| <input type="checkbox"/> 目標をもって学習している。 | <input type="checkbox"/> 計画を立てて学習している。 |
| <input type="checkbox"/> 学習する時間帯を決めている。 | <input type="checkbox"/> 集中して学習している。 |
| <input type="checkbox"/> 宿題以外の学習もしている。 | <input type="checkbox"/> 苦手な教科も学習している。 |
| <input type="checkbox"/> 様々な分野の本を読んでいる。 | |

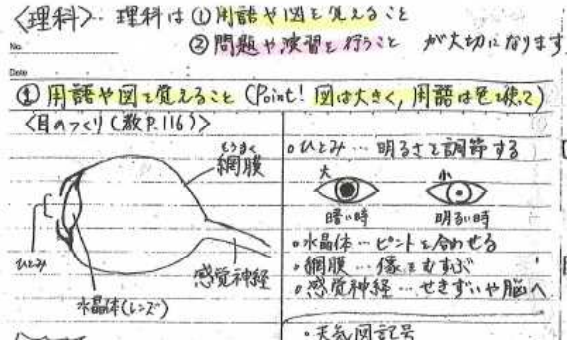
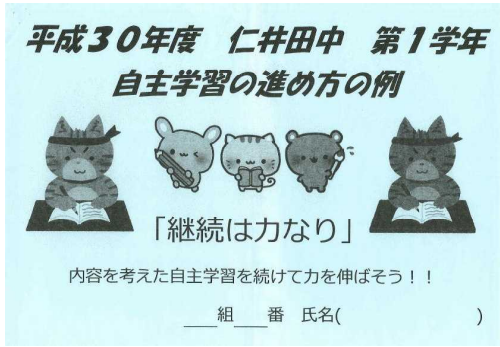
御協力ありがとうございました。

2 取組② 内容・方法を指導しています

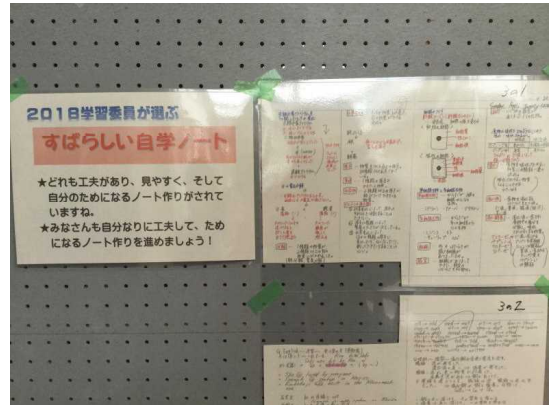
(1) 家庭学習ノートの充実を図る取組

「家庭学習スタンダード」を基に、各学年の実態に応じて、学習のポイントを明記した「自主学習の進め方の例」を配付している。

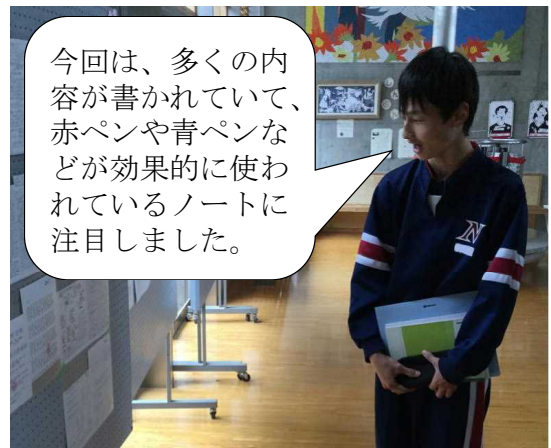
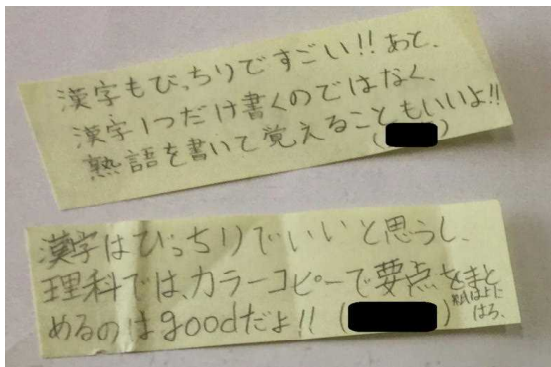
生徒は、この例を参考にしながら自主学習を進めているが、次第に、「自分なりの工夫」をする生徒が出てきている。「自主学習の進め方の例」は、あくまでも一つのモデルであり、生徒自身が、自分の個性を発揮して、より自分に適した自主学習の進め方を確立することができるように、見取り、励ましている。



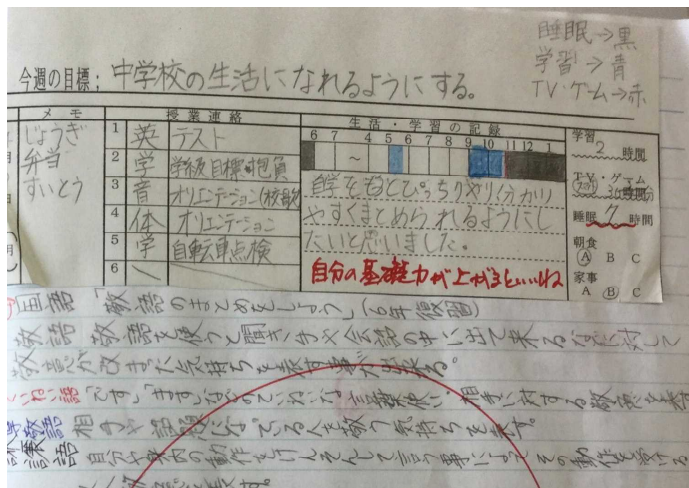
また、生徒会の学習委員が中心となり、他の模範となる家庭学習ノートを選んで、廊下に掲示している。学習副委員長に話を聞くと、どのような視点でノートを選んだのか、明確に答えることができ、生徒たちが自ら進んで活動している様子が伝わってきた。掲示されたノートを見ることが、生徒自身が家庭学習ノートを振り返る機会となっており、よい刺激となっている。



その他にも、互いの家庭学習ノートを見合い、よい点や改善点を付箋に書き、意見交流を行っている学級もある。



(2) 家庭学習ノートと生活の記録の融合



家庭学習ノートの上部に、毎日の生活の記録を貼り付け、翌日の予定や生活の反省、「3点固定」や「メディアコントロール」に関する項目について記入させている。その日の学習内容や翌日の予定などが、家庭学習ノートを見るだけで確認ができ、生徒自身が計画的に家庭学習を行えるよう工夫している。

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	「12の約束」、学びの質の転換
-------	-----------------

郡山市立逢瀬中学校

【取組の概要】

小規模校の「よさ」、生徒の「よさ」を生かし、一人ひとりを伸ばす学校を目指し、きめ細かな指導にチームとして取り組んでいる。また、小・中学校の連携とともに地域との連携も密にして、保護者・地域と共に歩む学校づくりを行い、地域全体で生徒の自己マネジメント力の向上に取り組んでいる。

1 取組① 協力・連携体制を築いています

(1) 中学校区3校での共通の取組

中学校区3校において「12の約束」を作成し、児童生徒及び各家庭に配付している。「12の約束」は「学習の約束」と「生活の約束」それぞれ6つの約束から構成されており、9年間を通して学習習慣、生活習慣の確立を目指している。発達段階に応じて4パターン（小学校低・中・高、中学校）用意されており、小学校段階においては、子どもに対する家庭での働きかけを具体的に例示し、家庭での協力が得られるよう配慮している。

また、中学校段階においては、生徒の自主性を育てるため「12の約束」について繰り返し指導を行っている。

小規模学校のよさを生かし、一人一人の家庭学習の様子を丁寧に見取することで子どもを伸ばす学校づくりを目指している。

小学校低学年版 逢瀬中学校区 12の約束 吹き出しは家庭へお願いです。

<p>学習の約束</p> <p>約束1 ~寝る前には~ 学習に必要なものは、自分できちんとそろえます。 忘れ物はない？の一声を！</p> <p>約束2 ~話を聞くときには~ 話している相手の方を見て、最後まで話を聞きません。 お子様の話をたくさん聞いてください。</p> <p>約束3 ~発表するときには~ 相手に分かるように、はっきりと自分の考えを伝えます。 最後まで話す習慣づけを！</p> <p>約束4 ~書くときには~ 文字を正しく書いていないに書きます。 正しい鉛筆の持ち方できてますか？</p> <p>約束5 ~分からないときには~ わからないことをそのままにせず、先生や友だちにききます。 自分で調べるように話してください。</p> <p>約束6 ~家で学習するときには~ 毎日、わずれずにしゅくだいをします。 家庭の学習環境を整えましょう。</p>	<p>生活の約束</p> <p>約束7 ~あいさつと返事~ だれにでも自分からすすんであいさつします。はっきりとした返事をします。 まずは「おはよう」のあいさつから！</p> <p>約束8 ~言葉づかい~ 相手の気持ちを考えたやさしい言葉づかいをします。 日常会話から気をつけさせましょう。</p> <p>約束9 ~きまりや約束~ テレビやゲーム、インターネットは時間を決めて楽しみます。学校のきまりは、必ず守ります。 まずは家庭のルール作りを！</p> <p>約束10 ~規則正しい生活~ 「早ね・早起き・朝ごはん」を守って生活します。好き嫌いしないで何でも食べます。 特に朝ごはんを大切に！</p> <p>約束11 ~思いやりの心~ 相手がいやがることはしません。友だちが困っていたら、すすんで助けます。 優しい声かけをお願いします。</p> <p>約束12 ~安全と安心~ 交通ルールを守って登下校をします。危険な遊びは、絶対にしません。 出かけるときに「車につけて」の一言を！</p>
---	---

中学校版 逢瀬中学校区 12の約束 中学校版

<p>学習の約束</p> <p>約束1 ~寝る前には~ 前日のうちに翌日の学習に必要なものは自分で準備します。</p> <p>約束2 ~話を聞くときには~ 相手が伝えたいことを考えながら、最後まで話を聞きます。</p> <p>約束3 ~発表するときには~ 相手が理解できるように、きちんと自分の考えや意見を伝えます。</p> <p>約束4 ~何かを書くときには~ 文字は速く正しく書いていないに読みやすい字で書きます。</p> <p>約束5 ~分からないときには~ 先生や友だちに聞いたり、本で調べたりして、多様な方法で解決します。</p> <p>約束6 ~家で学習するときには~ 計画を立て、毎日同じ場所・時間帯で継続して学習に取り組めます。</p>	<p>生活の約束</p> <p>約束7 ~あいさつと返事~ だれにでも自分から進んであいさつします。はっきりとした返事や受け答えをします。</p> <p>約束8 ~言葉づかい~ 時と場に応じたいていねいな言葉づかい、相手の気持ちを考えたやさしい言葉づかいをします。</p> <p>約束9 ~きまりや約束~ テレビやゲーム、インターネットは時間を決めて楽しみます。学校のきまりは、必ず守ります。</p> <p>約束10 ~規則正しい生活~ 「早寝・早起き・朝ごはん」を守って生活します。好き嫌いをしないで何でも食べます。</p> <p>約束11 ~思いやりの心~ 相手がいやがることはしません。友だちが困っていたら、進んで助けます。</p> <p>約束12 ~安全と安心~ 交通ルールを守って登下校をします。危険な遊びは、絶対にしません。</p>
---	---

家庭では 将来何をしたいかなど、お子さんと進路についてたくさん語り合ってください。 家庭学習の習慣が身につくよう、根気強く声かけをお願いします

(2) 3校合同でのPTA連絡協議会や学校評議員会の実施による連携体制の確立

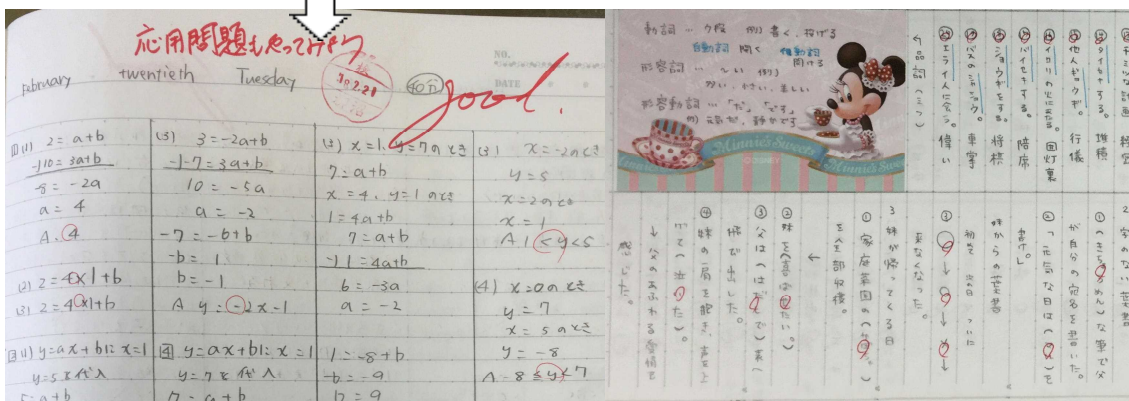
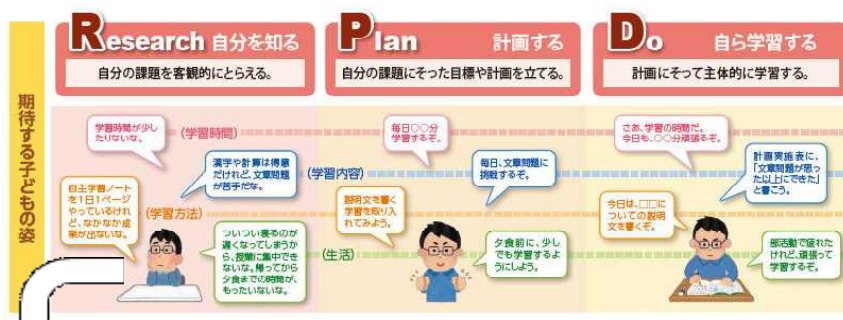
小中連携の充実を図り、授業や部活動の交流や中学校教員による出前授業など、児童生徒の交流活動を積極的に行ったり、3校の全教員が集まり授業研究会を行い、指導力向上に努めたりしている。さらに、「12の約束」を家庭だけではなく地域にも配布したり、3校合同のPTA連絡協議会や学校評議員会を実施して、学校と家庭、地域が教育活動の成果や課題を共有したりするなど、地域全体で一丸となり、児童生徒の教育に取り組んでいる。

2 取組② 内容・方法を指導しています

学びの習熟・発展を図る内容への質の転換

- ① 「家庭学習スタンダード」の Research (自分を知る)・Plan (計画する)・Do (自ら学習する) に重点を置き、小学校での指導を引き継ぎ、学習の習慣化と質の向上を図る指導を継続して行っている。家庭学習ノートに担任がコメントを記入し称賛やアドバイスを行ったり、見本となる家庭学習ノートを教室や廊下に掲示したりするなど、生徒の取組を認め、伸ばしていくことに全職員で取り組んでいる。継続して取り組んできたことにより、自分自身の課題に気付き、その課題を解決するために学習内容を工夫する姿が見られ、家庭学習の質の転換が図られてきている。その

成果が、全国学力・学習状況調査や県学力調査、NRT等にも表れている。



- ② 家庭学習の充実を図るために、「いつも決まった場所で」「計画した時間に」「テレビを消して」等、家庭での学習習慣の確立について、学年便りや保護者会等でも家庭への協力を継続して呼びかけている。
- ③ 校長が朝学習で生徒に計算問題を出題し、解答を行うなど、管理職も含め全教職員が一丸となって、生徒の学力向上に取り組んでいる。また、学校図書館の充実を図り、「朝の読書」だけでなく、家庭での読書「家読」の時間の確保にも努めている。学校での学習環境づくりが家庭学習の基盤になると考え、学校全体で取り組んでいる。

家庭学習の充実に向けた実践を行っている学校の取組

取組の特徴	全国学力・学習状況調査等やQUの分析結果を生かした学校経営と保護者と協力した家庭学習の習慣化に向けた取組
-------	--

白河市立白河第三小学校

【取組の概要】

全国学力・学習状況調査等や年間2回実施のQUの分析結果を基に、授業改善、授業と家庭学習の接続、よりよい学級集団づくりを学校全体で行っている。

また、「家庭学習の手引き」や「〇年生の家庭学習」、「家庭学習・生活表」などを活用して、保護者との協力体制を確立し、児童の家庭学習の習慣化に向けた取組を行っている。

1 取組① 共通理解を図り指導しています

(1) 全国学力・学習状況調査等の結果分析による授業改善と授業と家庭学習の接続に向けた取組

全国学力・学習状況調査の実施後すぐに自校採点を行い、結果を分析している。その他の学力調査等の結果も踏まえ、校内研修等において全教職員で成果と課題や今後の指導について協議を行い、4月の段階で共通理解を図っている。それらを基に、授業や「家庭学習の手引き」等を見直し、「子どもの心に火（意欲）を灯す」教育活動をモットーに学力向上に向けた取組を行っている。

(2) QUの分析結果を生かしたよりよい学級集団づくり

QUを年間2回実施し、その分析結果を基に、人間関係づくりや児童理解、授業改善の方途を検討している。また、構成的グループエンカウンターの実践を通して、よりよい学級集団づくりに学校全体で取り組み、教育活動全体の基盤としている。

<学力向上グランドデザインの一部>



2 取組② 協力・連携体制を築いています

○ 保護者と協力した家庭学習の習慣化に向けた取組

年度当初、家庭に「家庭学習スタンダード」に基づいて作成している「大切です！家庭学習（家庭学習の手引き）」を配付し、学年懇談会や学年だより等で、継続的に保護者へ周知することで、学校、家庭が協力して児童の家庭学習の習慣化を図っている。

児童に対しては、どのように家庭学習に取り組めばよいのかを、「〇年生の家庭学習」により、継続的に指導している。学年が進むに連れて学習時間が増えていくのはもちろんのこと、担任から指定された課題と自主学習の割合についても児童自らが考え、中学校への接続を意識しながら、実践している。

3年生以上では、「家庭学習・生活表」を活用し、児童自身が自分の家庭学習や生活を振り返るとともに、保護者にも意識してもらえよう働きかけを行っている。

<家庭学習の手引き>

大切です！家庭学習

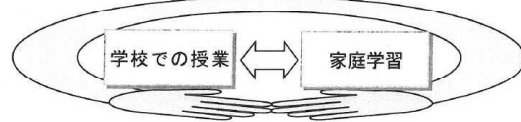
白河市立白河第三小学校

★家庭学習は、なぜ大切なのか？

- 家庭学習は、学校で学んだ内容（知識・技能）をしっかりと身に付ける時間です。
- 家庭学習を充実させることは「分かる喜び」「できる楽しさ」を味わうことにつながります。

★学校での授業と、どのようにつながっているのか？

- 家庭学習で身に付けた知識・技能が次の授業で生かされ、学力が高まっていきます。
- 学校の教員と保護者が同じ思いで取り組むことにより、お子さんの学力を高めることにつながります。



★どんなことを心がけて、子どもの家庭学習に向き合えばよいのか？

ご家庭で心がけていただきたいことを「3箇条」にまとめました。

お子さんの心に火（意欲）を灯し続ける3箇条

- その1 **整える**（県教委「家庭学習スタンダード」3つの視点『環境づくり』と同内容）
- ・鉛筆やノートといった学習用具を整える。
 - ・「家庭学習をしっかりと取り組むぞ」というお子さんの心を整える。
 - ・家庭学習前や最中は、テレビや音楽を消して、集中できる環境を整える。
- その2 **かける**（県教委「家庭学習スタンダード」3つの視点『心の支え』と同内容）
- ・取り組んでいる姿を「目をかけて」見守る。
 - ・努力している姿に「声をかけて」ほめる。
 - ・迷っている時には「手をかけて」少しだけ一緒に考えたり、アイデアを出してあげたりする。
 - ・家庭学習を見てあげられない時には、ランドセルに入っている取り組んだものを、お子さんの努力した姿を想像しながら「目をかけて」確認する。
- その3 **続ける**（県教委「家庭学習スタンダード」3つの視点『習慣づくり』と同内容）
- ・担任から指定された課題がない場合でも、家庭学習を毎日続ける。
 - ・3箇条を心がけた保護者のかかわりを続ける。

<学習内容・時間の目安>

★家庭学習に取り組む時間の目安とは？

学年×10～15分が目標です!!

学年	時間	内容
1年生	10～15分	担任から指定された課題
2年生	20～30分	
3年生	30～45分	
4年生	40～60分	
5年生	50～75分	自主学習
6年生	60～90分	

- ※ 学習の時間は、課題・自主学習を合わせた時間です。学年が進むに連れて学習の時間が増えていきます。
- ※ 中学校の学習時間を考えながら、「この学年ではこれくらいが適当」と思う時間を設定しています。中学校では、学年+1時間と言われています。それだけの勉強は中学校に入ったからといって急いでできるものではありません。毎日の積み重ねが大切です。

【自主学習のアイデア】

- ★ 音読が上手にできるようになったら、「暗唱」にチャレンジさせてみませんか？（教科書や学内で購入した詩集、音読プリントなどを活用してください。）
- ★ すぐ手が届くところに「国語辞典」や「漢和辞典」を置いておくと、辞書の引き方に慣れ、調べることが苦しくなくなります。また、地図帳や地球儀なども、すぐ手の届く場所にあるといいですね。
- ★ 親子で「読書」や「百マス計算競争」、いかがですか？
- ★ 本校では、漢字検定試験を受けることができます。年2回（平成30年度は、7月13日、11月2日）です。平日の放課後に実施します。挑戦してみてくださいいかがでしょうか。
- ★ テレビ・ゲームの時間は、平日は1時間以内、お休みの日は2時間以内にとどめるよう指導しています。ご家庭でも約束を決め、時間を有効に使うことができるようご指導ください。

学校（担任）と保護者が、同じ思いで取り組むことが大切です!!
(お困りの際は、担任まで気軽に声をください)

<家庭学習・生活表>